



## COLUMN

---

表紙：

### 川口工場

1960年

1957年、東京工場が手狭になることを予測し、埼玉県川口市青木町に用地を購入し、1961年2月から操業を開始しました。

川口新工場は、東京工場の分工場として新たに生産体制に加わり、主にラインによる生産をおこないました。

サーボモータ、ホットトップ自動制御装置、無線通信機用手回し発電機、通信向け信号度数計電源などを生産し、その後、コンピュータ周辺装置の磁気テープ装置、ディスク装置、リールモータ、キャップスタンモータ、真空ブロワ、シロッコファンなどのさまざまな製品が増産されました。

この時期は1964年に東京オリンピックが開催され、時代の大きな転換期でした。コンピュータや半導体を中心とした電子工業の躍進期となる昭和四十年代（1965年～）へ向かって、当社は積極的な経営を推し進めていきました。